

# 安心して子育てできる環境づくりについて 政策提言書



## 秦野市議会

委員長 福森 真司  
委員 石川 潤  
川口 薫

## 文教福祉常任委員会

副委員長 間地 薫  
桑原 昌之 中村 知也  
小菅 基司 横溝 泰世

## 政策提言に至ったきっかけ

- ✓ 本市の基本目標とリーディングプロジェクトには「子育て支援の充実が重要」と明記されている
- ✓ 人口減少下における少子化対策は切り離せないものと考え、子どもとその親を主役に、市民と行政と地域と教育・子育て機関が、皆で連携・協働していく必要がある
- ✓ 今回の提言で、「子育て世代が秦野市で子育てしてよかったと思えるまち」となり、「若い世代も秦野市に住み続けたい」と思うきっかけとしたい

## 本市の現状と課題

- ✓ 人口は老年人口（65歳以上）が増加する一方、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向
- ✓ 人口総数に対する15～49歳の女性人口は減少を続けている
- ✓ 合計特殊出生率は、平成28年以降、全国と神奈川県を平均を下回り、県央八市（相模原市を除く）と比較しても低い水準
- ✓ 核家族世帯の増加と、自治会加入率の低下により、地域との交流が希薄となっている
- ✓ 常時開設している子育て支援拠点が少ない
- ✓ 各地域拠点となる公民館は、利用のない時間帯（空いている時間）が多い
- ✓ 子どもの遊び場・多世代で交流できる場が少ない

## 大きな課題

- ✓ 常時開設している子育て支援拠点が無い
- ✓ 子どもの遊び場・多世代での交流の場が少ない



## 解決に向けて

- ✓ 常時開設の子育て支援拠点を設ける
- ✓ 各地区に既にある施設を活用して子育て支援の拠点を設ける
- ✓ 全天候型の遊び場を確保し、多世代交流ができる拠点とする



「安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり」ができ、  
ひいては「地域のにぎわい活性化」にもつながるのではないかと

提言

# 0 | 新たな地域交流拠点の施設を設けて子育て支援と多世代交流の充実を

ランドマークとなる拠点を設けることを検討し、その拠点は、1つの目的だけの単独施設ではなく、図書館機能、子育て支援機能を設け、複合的な目的を持ってしよよう出来るような拠点とすること

## 【具体的な取組案】

- 1) 新拠点の建設時は若い世代との市民ワークショップを開催
- 2) こども館の機能拡充
- 3) 多くの世代が滞在・交流することができる場所
- 4) 妊娠・出産・育児に関するワンストップ相談窓口
- 5) 全天候型で子どもが遊べる場所

提言

## 02 既存施設を活用して子育て支援の強化と多世代交流を

市内に点在する各既存施設が子育て支援を多世代交流の拠点となるよう機能の拡充を検討すること  
その際、担当部署だけでなく、市民の声を聴きながら、子育て関係課と連携し、誰もが利用できる  
環境となるよう努めること

### 【具体的な取組案】

- 1) 気軽に子育てについて相談できる窓口機能
- 2) 余裕教室・余裕時間帯の活用
- 3) 各拠点で地域独自の取組を実施
- 4) こども健康部と各部局の連携